

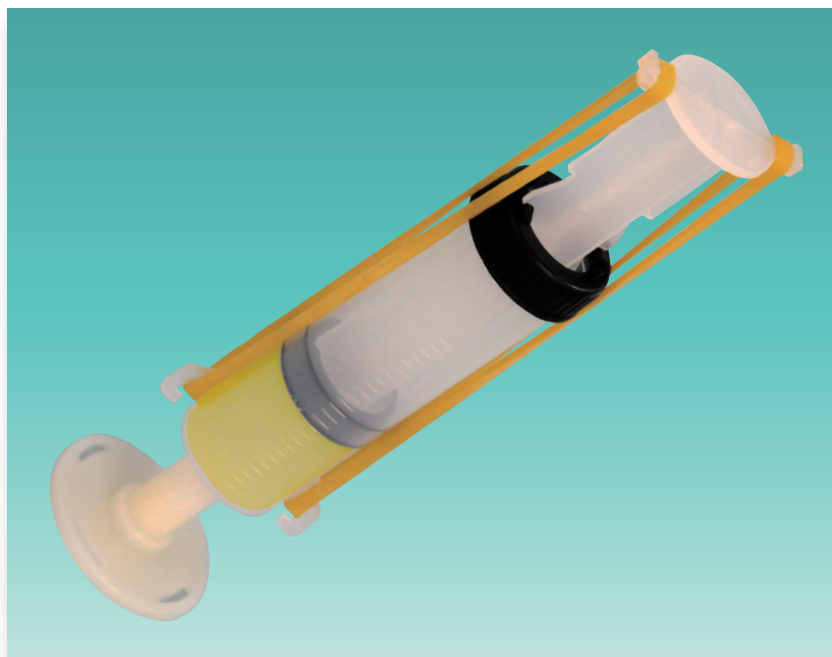
SHO-BOND

MATERIAL

コンクリートのひび割れ補修に用いる
自動式低圧樹脂注入器具

SHO-BOND

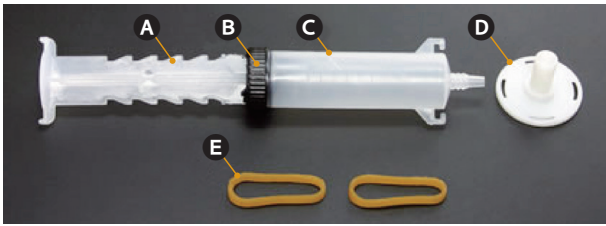
LLインジェクター



- ◆インジェクターへの注入材の充填が容易です。
- ◆充填には特別な器具は必要ありません。
- ◆シリンダーに目盛りがついているので残量の確認が容易です。
- ◆圧力はゴムの本数で容易に調整できます。

ショーボンドマテリアル株式会社

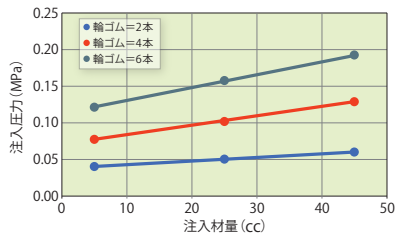
特徴



製品構成：LLインジェクターは、**A**ピストン、**B**ストッパー、**C**シリンダー、**D**注入座金、**E**加圧ゴムで構成されています。

容量：50cc

注入圧力：



LLインジェクターへの充填方法：

ピストンを引くことでシリンダー内部に注入材が充填されます。充填完了後、ピストンを左に少し回転させてストッパーに固定させゴムをかけます。



関連資材

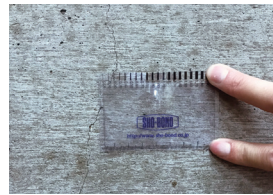
■ シール材

商品名	成分	特徴
#101	エポキシ	汎用
BL シール	ポリエステル	速硬タイプ
SB ソフトシール	シリコーン	はく離可能

■ 注入材

商品名	成分	特徴
BL グラウト	硬質エポキシ	低粘度
DD グラウト	硬質エポキシ	中粘度、揺変性
WB グラウト	硬質エポキシ	湿潤面接着
DD グラウト 50	柔軟エポキシ	柔軟性、揺変性
BL グラウト 100	柔軟エポキシ	柔軟性

施工手順



① 現場調査

ひび割れの幅、長さを調べ、施工に必要な注入資材の数量を算出します。



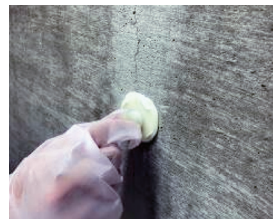
② 下地処理

ワイヤーブラシやディスクサンダー等を用いてシール材塗布箇所の汚れやほこりを取り、きれいにします。



③ 座金設置位置のマーキング

注入座金取付け位置をマーキングします。設置間隔は200～300mmです。



④ 座金設置

座金にシール材を塗布し、設置していきます。**※SBソフトシール使用時には、座金の接着面および側面にあらかじめSBソフトシールプライマーを塗布しておきます。**



⑤ シール

ひび割れ部から注入材がもれないようシールします。シールは、厚み2mm、幅30mmを目安にし、シール材が密着するようにへら等で押えます。



⑥ 注入

シール材の硬化を確認した後、注入材を充填したLLインジェクターを座金に取り付け注入します。



⑦ 撤去

注入材が硬化した後、LLインジェクター、シール材を撤去します。

お問い合わせは

■ 製造・販売

ショーボンドマテリアル株式会社
<https://www.sb-material.co.jp>

■ 東京事業所 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8
 TEL.03(6861)7411(代表)

■ 大阪事業所 〒536-0022 大阪市城東区永田3-12-15
 TEL.06(6965)7235(代表)

■ 本社・川越工場 〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 TEL.049(225)5611(代表)

● 取扱店

2018年10月版

1-1810